

歴史散歩

文——多古町郷土史の会

崇石様

方田一六三番地に祀られている町内ではただ一社の流星（いん石）を祭神としている社です。由緒について「ある夏の夜、村中が真昼のように突然明るくなり、翌朝、周りが焼



いん石が祀られているという崇石様



崇石様から望む方田集落

けた草むらの中に赤茶けた石が二つ発見された。以来、天から光を放って飛んできた神秘の石として、その地に祀られるようになり、村に嫁いで来た人は、鎮守様の次に崇石様をお参りすることが習わしとなった」との言い伝えが残っています。また、当地区の延命山法光寺の古文書には「文化九年（二八二）崇石大明神を勧請」と記されています。

古くは天神の森にあり、参道には寄進された鳥居が立ち並んでいたといわれますが、現在は地区東端の畑の中にひっそりと鎮座しています。

日枝大神

坂六三番地に祀られている鎮守です。『起原記』には、永祿二年（一五五九）創建とあるほか「明治三十二年（二八九九）には参謀本部が測量の妨げになると木を切り、その補償金で社殿を銅屋根にした」など、軍の実

測年代も記されています。また、神田制度が無くなるまで当社では、旧暦霜月（11月）14日に大祭が行われていました。毎年この日は、境内でたくさんのご馳走が作られ食い放題であり、各家では鍋をかまどに掛ける必要が無かったことから「鍋掛けずの日」と呼ばれていました。

本殿裏には、地元生まれの歌人で若山牧水の直弟子ともいわれた春翠（細野憲司）の歌碑が。両者の親交の深さは『牧水全集』に収録された多数の手紙などでも知られます。



日枝大神

「露のりりかきがながて秋多連て秋能小草のみなうつくし貴」とある春翠の歌碑

メタボ健診が始まります!!

文／国保多古中央病院 健診センター

こんにちは。今回は健診センターの紹介です。病院と聞きます思い浮かぶのは、病気の人が掛かる内科、外科、小児科などの診療部門かもしれませんが、ここは全く違う各種健診を行う部門です。

健診業務は、ほぼ一年を通して受け入れていますので、がん検診1600名、住民健診2000名、企業健診800名と多くの方に利用されています。

健診結果を発送する時に思うのですが、数年前に比べて、再検査を受けなければいけない方が最近とても多くなったように感じます。みなさん、食生活はいかがですか？運動を心掛けていますか？



ご存知ですか？

平成20年から特定健診が始まるのは、みなさんご存知のことと思います。メタボリック・シンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診のため、テレビや新聞では「メタボ健診」ともいわれています。この健診では、何と腹囲測定が入りました!!あまり他人には見られたくない、おなか周りを測るんです。今からでも遅くはないかもしれません。ぜひ、早めに運動を始めてみてください。健康は自己管理です。自分のことは自分で管理しましょう!!



メタボ健診で、日ごろの生活習慣の改善が必要だと判断された方には、その後、特定保健指導があります。まだ病気にはかかっていない人を、

追跡レポート!——この職業・この人たちの24時間



食のスペシャリスト 栄養士の日

紹介者：武田洋子さん(居射)

私は多古町学校給食センターに勤務し、給食の献立作りなどに携わっています。朝7時前には出勤し、納品された品物の検収作業からスタート。品名や数量、配送時に適正な温度管理がされていたかを確認します。8時には調理員さんが調理を開始。ジャガイモの芽取りなどは、私もお手伝いします。特に衛生面には気を使い、食材に十分な加熱がされているかは、機械を使い何度も温度測定します。給食は時間との戦い。11時半までに1640食を各学校・幼稚園へ配送しなければなりません。回収された食器類の片付けが終わる午後3時半ごろには、調理員さんとのミーティング。残菜の量や反省点を話し合い、明日の献立や作業の確認を行います。

献立は栄養のバランスはもちろん、調理時間や作業工程など

も考慮し、予算内に収めます。調理員さんとの検討会や、各学校の給食主任さんの意見や感想を参考に、地元の野菜なども取り入れて毎月上旬に決定します。中旬には食材の見積もりを取って発注。献立表を印刷し、翌月の月初めに配布しています。

子どもたちに食材の知識や季節の行事食に興味を持ってもらえるよう、毎食一口献立メモ作り、給食時に放送してもらっています。栄養的に優れ、見た目にも美しく、おいしいとってもらえる給食を作るため反省と勉強の毎日。例え残ることが分かっていても、子どもたちが苦手な豆類などは、めげずに盛り込んでいきたいです。

小児生活習慣病健診の事後学習会や学校行事へ参加し、食生活へのアドバイスも。給食は年間191食、総食事数のわずか6分の1です。保護者の皆さんには、手作りで心のこもった家庭の味を、子どもたちに伝えてもらいたいですね。



取材協力：多古町学校給食センター